

第27回防災まちづくり大賞 “消防庁長官賞” を受賞

～大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発～

令和5年2月28日（火）、地域づくり技術研究所が進めている標記の取り組みが、「第27回防災まちづくり大賞（総務省消防庁主催）」で、消防庁長官賞を受賞しました。

「大雨から大切な命を守る」ため「伝わる」ことを意識し、幅広い年齢層、防災への興味の薄い人達など、全ての人に伝わる防災啓発として、過去の災害を学ぶ防災啓発冊子と点字版、浸水疑似体験VR、浸水疑似体験映像（3ヶ国語版）、大雨にソナエルピクト、あつ森（ゲームソフト）による避難学習動画、デジタル展示館などを活用して実施した、小・中・高校・特別支援学校での防災講座、VR体験会、防災イベントでの取り組みが評価されました。

※「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施されています。



前田 消防庁長官（左）と廣瀬 当協会理事長（右）

